

平成30年度 学校だより



平成31年2月20日(水)
御前崎市立第一小学校

学校教育目標

花いっぱい 自分 友だち 御一小

E-mail:

No. 8

onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka.jp



「ありがとうは しあわせのはじまり」



校長室には、ある会社が全国から募集した「子どもの時学校の先生からもらった忘れられない一言」を集めた日めくりカレンダーがあります。その、一日のページには「ありがとうは幸せの始まり」と書かれています。青森県在住の40代の方が応募された言葉です。前回の学校便りでも「ありがとう」に込められた思いについて書かせていただきましたが、この言葉から、私も今まで、「ありがとう」から始まった小さな幸せな出来事をいくつか思い出し、うれしい気持ちになりました。

また、14日のページには、「ありがとうとごめんなさいは、自分が一番先に言いなさい」(茨城県30代の方)でした。「ありがとう」がつくるすてきな関係づくりを子どもたちにも経験してほしいと願います。

その14日には、3年生の家庭教育学級の閉級式があり、この二つの言葉を紹介させていただきました。2階の多目的室に親子で寄り添いながら、笑顔で話を聞いてくださったみなさんの姿がほほえましくて、ぐっと胸にこみ上げるものがありました。そして、家庭教育学級役員さんからの「今年の家庭教育学級で親子の絆の花がたくさん咲きました。これからも大切にしていきましょう。」という言葉も、心にじーんと染み渡るものでした。「御一小の花いっぱい」は、様々な場面でたくさんの人に意識していただいていることを感じ、うれしくなりました。

2月8日(金)は、4年生の二分の一成人式が開かれ、保護者の皆様に、子どもたちの心がこもった合唱と一人一人の夢宣言を聞いていただきました。「お母さんのように強く優しい人になりたいです。」「人を幸せにする〇〇になりたいです。」「お父さんみたいに家族を大切にする大人になりたいです。」等々、みんな違ってみんないい、すてきな夢を語ってくれた子どもたちの姿を見ているうちに、熱いものがこみ上げてきたのは、私だけではなかったでしょう。「どうぞ、子どもたちの夢がかないますように」と願わずにいられませんでした。

今、子どもが関係するさまざまな事件が起きていて、その報道を聞いたときに胸が締め付けられる思いになります。私たち大人は、いつもどんなときも、子どもを守る大人でありたいと強く感じます。そして、子どもを取り巻くすべての人々がスクラムを組んで、子どもたちの夢の実現を支えていく地域をみんなで作っていきたいと思います。



みなさん！力を貸してください！大人がスクラムを組みましょう！（校長 増田久美子）